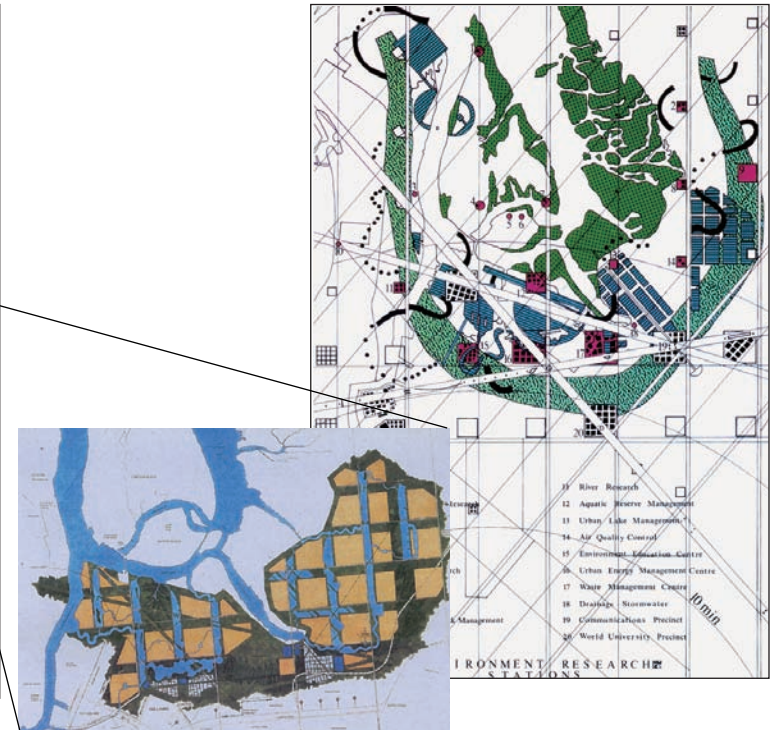
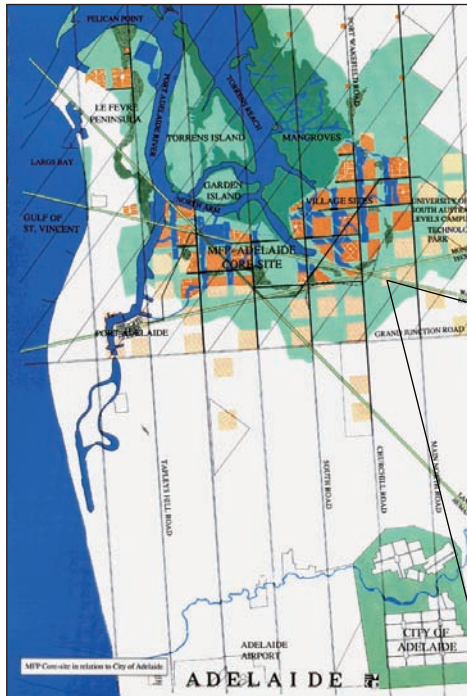
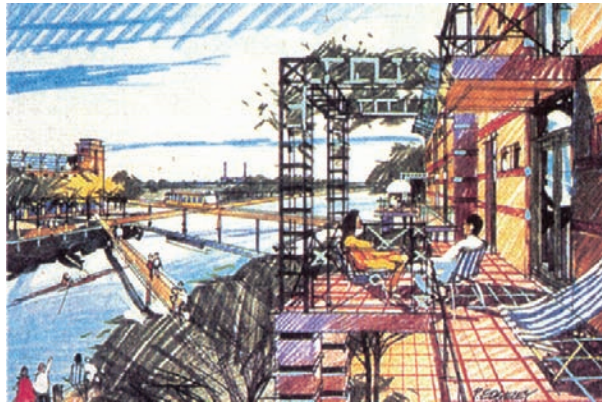


オーストラリアMFP新都市開発計画

所在地： オーストラリア・アデレード市
 発注者： MFP研究会日本事務局
 期間： 1989～1991

マルチ・ファンクション・ポリス (MFP) は日豪の政府及び民間企業グループの共同により構想された都市開発プロジェクトであり、日本側事務局のコンサルタントとして計画に参加。この新都市のコンセプトの特徴は「人間性」「技術」「環境」という、近代化の過程で分断化された脱産業的テーマを復元・融合し、さらにそれらの相乗的な効果により次代の新しいコミュニティのモデルを実現しようとしている。人間のフェイス・トゥ・フェイスの交流をベースとした文化と生活を創造する「ルネッサンス都市」、高度なインフラに支えられた先進分野の研究開発と人材育成の基地である「テクノポリス」、地球規模での環境との調和を保つ「バイオスフェアな都市」という、これからの都市に求められる3つの要素を統合した、コスモポリタンなコミュニティの育成が目標である。



■MFPの3つのコンセプト



● バイオスフェア(生物圏)
Biosphere
 自然や生物と共生する都市。地球規模の環境問題を解決するための新しい環境管理技術を導入した都市環境の構想。

● ルネッサンス都市
Renaissance City
 国際的交流を軸とした、健康、教育、レジャー、エンターテインメント、メディアなど新しい都市文化の創造。

● テクノポリス
Technopolis
 ヒューマンリソース(人的資源)を核とした。情報処理、テレコミュニケーション、バイオテクノロジー、医療技術、最新交通システムなど高度情報社会において競争力を持つ産業技術の開発。